

# Q 一般質問 A

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。この質問を「一般質問」といいます。今定例会では、20人の議員が一般質問を行いました。

## 藤代駅北口 便利で安全な環境に

佐藤 隆治 議員

**問** 藤代駅北口周辺の交通量を把握しているか。

**答** 都市整備部長 朝夕の送迎が多い時間帯2時間で、それぞれ約180台。南口の半分の量。

**問** 交通広場の改良で、どう利便性が上がるのか。

**答** 7台の停車スペースを設ける他、歩道部分には屋根を付け、雨の日も濡れずに駅に入れる。

**問** 蔵前交差点から藤代駅北口への道路は歩道がなく危険。整備計画は。

**答** 都市整備部長 朝夕は特に自動車、自転車、歩行者で混雑するが未整備。できるだけ早く整備に着手したい。

**問** 北口駅前商店の閉店などにより多くの街路灯(商業灯)が消えている。明るくなるよう検討を。

**答** 建設部長 暗い状況は確認している。再度、現地を調査し、LEDも含めて設置基準に基づき検討する。

## 道路は市の顔 適正な維持管理を

吉田 宏 議員

**問** 道路修繕の要望件数や対応状況は。

**答** 建設部次長 要望は年間



安全対策の工事が行われている通学路(下高井地内)

1000件ほど。28年度実績で5138万円を支出。

**問** 下高井三差路付近の通学路の安全対策は。

**答** 道路建設課長 歩道と車道の間待避所、ガードパイプを設置。横断歩道カラー化等、児童生徒の安全と車両のスムーズな運行を確保する。

**問** 都市計画決定し、事業化されている道路はあるか。

**答** 取手東口・城根線の台宿工区と、北敷沼附線(北浦川緑地付近)の2路線。

**問** 井野団地外周道路は高齢者や障がい者への配慮としてバリアフリー化の歩道は必須。財源はどうする。

**答** 国からの補助金は難しい。起債での対応しかない。  
**建設部長** 大規模修繕には事前調査と設計が必要。市全体を計画的に進めたい。

## 地域を巻き込み 子どもの安全対策を

石井 めぐみ 議員

**問** 学校で冬場の帰宅時間をどう指導しているか。

**答** 教育長 校庭開放時間は夏は5時、冬は4時半まで。外出時は「どこへ、誰と、何をしに、何時に帰るか」を家族に告げるよう指導。

**問** 夕方5時の防災無線チャイムを冬場は早い時間に流せないか。

**答** 総務部長 3時の見守り放送と5時のチャイムは既に市民の生活リズムに定着している。変更予定はない。

**問** 2カ所目の防犯ステーションの検討状況は。



防犯ステーション(東6丁目)

市長 1カ所目の防犯ステーションの効果ははっきり出ている。設置の決断をすべき時期には来ている。厳しい財政状況下だが運営方法を工夫し対応したい。

**問** 市役所窓口に専用タブレットの設置、マネジメントツール導入  
**産後の不安解消のため  
産婦健診実施を**

阿部 洋子 議員

**問** 産婦は、産後2週間が最も精神的に不安定になる時期といわれ、積極的に産婦健診を行う自治体が増えている。出産後の子育ての不安解消と、母体の健やかな回復のためにも産婦健診実施に向けた計画を伺う。

**答** 健康増進部長 平成30年度からの実施に向けて準備を始めている。産婦健診と産後ケア事業をセットで実施することによって、市の母子保健、子育て支援事業の効果をもさらに高めたい。

**問** 30年度予算には計上されるかと考えてよいか。

**答** 健康増進部次長 現在、予算編成中だが、保健センターとして、産婦健診実施に向けて必要な経費を計上している。

**問** 市役所窓口に専用タブレットの設置、マネジメントツール導入  
**届出挙式で  
市のイメージアップ**

染谷 和博 議員

**問** 人前結婚式が増え、全国的に見て実施している市役所もある。これらの届出挙式を市でも実施しては。

**答** 総務部長 周年記念事業としての取り組みが多い。市では婚姻届の用紙に独自の工夫を取り入れて昨年9月から始めた。届出挙式が定着するか様子を見ていく。

**問** 市役所窓口に専用タブレットの設置、マネジメントツール導入  
**届出挙式で  
市のイメージアップ**

**答** 総務部長 実施しているところはイメージアップにつながるという認識である。

**問** 市のイメージアップにつながるシティプロモーションの観点では、総務部長 担当部署と協議したい。

【その他の質問】市役所窓口へ専用タブレットの設置、マネジメントツール導入

**産後の不安解消のため  
産婦健診実施を**

阿部 洋子 議員

**問** 産婦は、産後2週間が最も精神的に不安定になる時期といわれ、積極的に産婦健診を行う自治体が増えている。出産後の子育ての不安解消と、母体の健やかな回復のためにも産婦健診実施に向けた計画を伺う。

**答** 健康増進部長 平成30年度からの実施に向けて準備を始めている。産婦健診と産後ケア事業をセットで実施することによって、市の母子保健、子育て支援事業の効果をもさらに高めたい。

**問** 30年度予算には計上されるかと考えてよいか。

**答** 健康増進部次長 現在、予算編成中だが、保健センターとして、産婦健診実施に向けて必要な経費を計上している。

【その他の質問】代読・代筆支援員養成研修実施、防災会議への女性登用、久賀地区・牛久沼周辺の振興策